



2021年11月8日

各 位

会社名 株式会社 理 経
 代表者名 代表取締役社長 猪 坂 哲
 (コード番号 8226 東証第二部)
 問合せ先 取締役経理部長 長谷川 章詞
 (TEL. 03 -3345 -2153)

2022年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異

2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期 第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想における予想値と比較して、本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2021年5月13日発表)	4,400	△140	△200	△240	△15円87銭
実 績 値 (B)	5,999	113	66	△25	△1円69銭
増減額 (B - A)	1,599	253	266	215	
増 減 率 (%)	36.3	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	5,005	△72	△67	△141	△9円33銭

2. 差異が生じた理由

連結の実績値につきましては、主に子会社、株式会社エアロパートナーズにおいて案件の早期納入などにより、売上高、利益が増加したことと当社経費の圧縮によります。事業別ではシステムソリューションにおいては、自動車・半導体向け工業用計測製品の好調により売上高、利益とも増加いたしました。ネットワークソリューションにおいては、衛星通信分野の低調により、売上高、利益とも減少いたしました。また電子部品及び機器においては、前述の子会社株式会社エアロパートナーズにおいて、案件の早期納入などにより売上高、利益とも増加いたしました。

これらの要因により、連結売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2021年5月13日に発表いたしました業績予想を上回る結果となりました。

なお、2022年3月期通期の連結業績予想については、現時点において、最近の国内外の経済状況の変動を鑑み、2021年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

以 上